

第 40 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 4 月 21 日（水）午後 6 時 00 分から午後 6 時 10 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 感染者の全国的な拡大が続き、関西も同様の状況となっております。
- ・ そうした状況等を踏まえ、昨日、隣接する大阪府が、また、本日は、兵庫県が緊急事態宣言の要請を国に行ったところです。
- ・ 京都府も、昨日、4 日連続で 100 人を超える新規感染者となるなど、厳しい状況が続いております。
- ・ こうした状況を踏まえ、今後の対応について、御協議いただくこととしております。それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・ まずもって、この間、日夜、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様には、心から感謝を申し上げたいと思っております。
- ・ 府民、事業者の皆様の御協力により、感染防止対策を実行していただいておりますが、感染の拡大が続いております。
- ・ 本日の府内の新規感染者数は 128 人、7 日間の移動平均で 110.4 人、直近 1 週間と比較しますと 1.35 倍と、拡大傾向が続いており、予断を許さない状況であると思っております。
- ・ また、今日、大阪、兵庫ともに過去最多の感染者数を更新しており、関西全体の感染拡大傾向も、引き続き非常に厳しい状況となっております。
- ・ この間、まん延防止等重点措置を実施してまいりましたが、先に開催した専門家会議の御意見も踏まえて、今後の対応について、議論したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・ まずは、最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ それでは、今後の対応について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料2に基づき説明

【知 事】

- ・ それでは、ここまでの報告について、松井議長から、よろしくお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・ 4月12日にまん延防止等重点措置が適用されてから、10日目であります。
- ・ 効果が現れるとされている2週間後の26日まであと5日ありますが、感染者増に続いて、重症患者増が認められており、第3波の経験を踏まえ、現在の感染者数から判断すると、数週間後には重症者病床が逼迫することが予想される段階です。
- ・ 専門家会議では全会一致で、緊急事態宣言の発出を要請するべきと考えております。
- ・ 最近、広がりを見せている変異株ですが、従来株よりも若い年齢層でも、重症化する可能性が指摘されております。
- ・ そして、新型コロナウイルス感染症は年齢に関係なく、重症化すると、人工呼吸やECMOで治療を行っても、重篤な後遺症を残し、その後の生活に大きな制限を与える、ということがわかっております。
- ・ これ以上の重症者を生じさせないために、これから一層強い対策をお願いしなければなりません。
- ・ 重症者を出さないためには、かからないことが一番です。
- ・ これまでも府民の皆様には大変な御負担をお願いしておりますが、今また、緊急事態宣言の要請を行うという事実を重く受け止めていただき、お一人お一人がかからない行動をお願いしたいと思います。

【知 事】

- ・ 感染者数が増え、その後、重症者数が増え、入院、重症病床が埋まって、医療崩壊を起こすような逼迫状況になると大変なことになるため、早めの対応が必要だと、専門家会議でも、松井議長からも御意見いただきまして、ありがとうございました。
- ・ それでは、他に御意見、御発言等がなければ、事務局案のとおり、本日政府に対しまして、緊急事態宣言の発出の要請をしたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・ その他、各部局からの御報告等ございませんでしょうか。

※特になし

- ・ それでは、本日の会議の総括をさせていただきます。
- ・ 先ほども松井議長からございましたが、府内の医療提供体制を守るためにも、特に人の流れをあ

る程度抑えていく、さらに強い対策が必要であると考えておりますので、関係部局においては、次の2点について万全の対応をしていただきたいと思います。

- ・ 1点目は、緊急事態宣言発出の要請について、政府の方で受け止めていただければ、緊急事態措置について、より実効性のあるものを検討していく必要がありますし、決定後、できる限り速やかに実行すべく、準備を進めていただきたいと思います。
- ・ 2点目は、他府県の状況も、京都府の状況も、まだ感染の拡大は続く見込みでございます。
- ・ ゴールデンウィーク期間中は、医療提供体制が脆弱になるということもございます。
- ・ 医師会等と連携して、医療提供体制の確保、それから、緊急事態宣言下でのゴールデンウィーク中の府庁も含めた関係機関の業務体制について、万全の体制をとるよう準備を進めていただきたいと思います。
- ・ 府民、事業者の皆様には、引き続き非常に御負担、御不便をおかけすることになるわけで、大変心苦しく思っておりますが、ここが正念場と考えて、京都府としても、京都市と連携して、全力で取り組んでまいりたいと考えております。
- ・ 今後とも、特に緊張感を持って対応していただくよう、私からよろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上です。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長においては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いいたします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監においては、御出席いただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ 以上をもちまして、対策本部会議を終了いたします。